

早いもので、一学期も残すところあと数日となりました。今学期何かやり遂げたと実感できるものがありますか。夏休みに入る前に、今までの生活を十分に振り返ってみてください。「鉄は熱いうちに打て！」ということわざがあります。英語では、“Strike while the iron is hot.”と言います。鉄は冷めてしまうと固まって曲げられなくなります。人も同じです。若く心も体も柔軟なうちに鍛えておいた方がいいのです。まさに今がその時です。有意義な夏休みを過ごしてもらえればと思います。そして、新たな気持ちで新学期が迎えられることを願っています。

人権教育映画映写会を開催（6／1）

[上映作品]

〈人権啓発ビデオ〉 部落の心を伝えたいシリーズ
「出会いから学ぶ」 ～しなやかな世代・高田美樹～
〈2015年11月制作／29分作品〉



今年度は、鳥取県の被差別部落出身の高田美樹さんの人権啓発ビデオを鑑賞しました。高田さんは、建設業の父と教師の母の下に生まれ育ちました。中学校での同和教育に不満を抱えていましたが、高校生の時にたまたま出会った社会問題研究部のメンバーたちとの交流が、彼女の生き方を変えました。暗くなく、重くなく、辛くなく、さわやかに、素直に、人権を語り合う姿に共感したのです。

母方の祖父は、父が部落出身という理由で結婚を許さず、22年間音信を絶っていました。親戚の看病を機に再会することになったのです。彼女がそこで見たのは、偏見と差別に凝り固まった鬼ではありませんでした。温和な普通の老人の姿だったのです。和解後は、本当に信頼できる関係が生まれたのです。高校を卒業して上京し、飲食店の店長を勤めました。その後、故郷に戻り、介護の現場や行政施設で働き、結婚しました。1歳の子どもを育てるなか、最近は講演を依頼されることも増えたそうです。今現在は、学校保健室の養護教諭という子供たちにかかわる仕事をめざし、準備に追われています。

以下に生徒の感想を簡単に紹介します。

★この映画を見て、私も「差別をなくすために何かしたい。」表向きな言葉ではなく、きちんと自分の意思で差別をなくしたいと思った。（1年生女子）

★たくさんの大人が頑張ったから今差別が少しずつだけ減っているんだと思う。差別を受けている人だけが頑張るんじゃなくて、私たちも何か行動しなければいけないと思った。（1年生女子）

★小中で部落差別について考えたりしてきたが、高校での人権学習は全然違い、びっくりした。（1年生男子）

★若い世代でも部落差別を受けることはありえるんだなと思ったし、まだ根強く残っているんだなとも思った。（1年生男子）



★部落差別というのは部落出身の人だけではなくて、私たち全員に関係しているんだと思ったし、自分は関係ないんじゃないかもっと関心を持ちたいと思った。（2年生女子）

★高田さんの話はとても心に残った。すごい話を聞いたんだと思った。（2年生男子）

★同和教育を深く考えることはなく、何となくもやもやした感じで思っていた。でも今日「知らないから」というわけにはいかないんだということが分かった。（2年生女子）

★逃げるという言葉にマイナスなイメージしかなかったが、逃げることで解決するいじめや差別があることがわかった。（2年生男子）

★今回の映画を見て、自分の身近で起こっていないだけで私の知らないところではこんな現実もあるのだと改めて実感した。（3年生女子）

★昨年の講演会もとてもわかりやすく今までの考え方を教えてくれたが、今回の高田さんの話もとてもわかりやすかった。（3年生女子）

人権教育ホームルーム活動研究授業を開催（6／8）

6月8日（木）に、人権教育ホームルーム活動の研究授業を開催しました。各学年1クラスのみの公開となりましたが、大洲・喜多地区の中学校や高校、地域の関係機関の方々、保護者の方々に大勢来ていただきました。



1年生は、「差別の現実に学ぶ（I）」というテーマのもと、身の回りのほんのちょっとしたことが原因で起こってしまういじめを防ぐためにはどうすればいいか、またいじめが起こってしまった場合にどうすればいいかを、昨年度大洲高校演劇部が「いじめSTOP愛顔の子どもフォーラム」にて発表したDVDを鑑賞して学習しました。



2年生は、「人権の歴史（I）」というテーマのもと、部落差別の起こりやその歴史的背景を正しく理解し、差別に屈せずたくましく生きた人々の姿から、自らの在り方や生き方について考えることが大切であるということを実感することができました。



3年生は、「差別の解消（I）」というテーマのもと、就職差別解消への取り組みとして、「全国高等学校統一用紙」や「就職差別につながるおそれのある項目（14項目）」について学習しました。その後、模擬面接を実施して差別を見抜く力を身につけることができました。また、「答えない」勇気を持つことが大切であることを学びました。



ホームルーム活動終了後、各学年ごとに批評会を行いました。6月16日（金）、19日（月）には残りのクラスのホームルーム活動を実施しました。どのクラスも真剣に取り組んでいました。参観された皆様、大変ありがとうございました。（人権教育課 尾田）